

# 科学技術イノベーション戦略と 日本学術会議



CRDS10周年記念シンポジウム  
「日本が取るべき科学技術イノベーションとは」  
2013年12月3日(火)  
日本学術会議会長 大西隆



# 学術会議の3つの役割

- **学術のための学術会議** 学術の発展のために科学界、政府等へ情報発信(勧告、提言や報告)する
  - － 研究機関の設置、研究予算獲得
  - － 特に初期の学術会議では、この役割が大きかった。
- **政策のための学術会議** 政府へ政策的な助言を行い、政策に科学的な知見を反映させる
  - － 多数の政策提言、多様なチャンネルで政策立案と連携
  - － 学術振興のテーマを超えて、種々の政策に科学・技術の観点から提言等を行う。東日本大震災からの復興等に関わる提言等で活発化。
- **社会のための学術会議** 科学を社会に普及させ、国民生活を豊かにするための情報発信
  - － 国民との対話、審議・情報の積極的公開
  - － 社会の諸問題に対して科学・技術の観点から提案を行い、社会と共に議論・・・持続可能な開発(地球環境問題)、Future Earth等。



# 日本学術会議の意見表明

- 自律的に課題を設定して提言・・間接的に政策に影響
  - － 東日本大震災復興支援 津波災害
  - － 原子力利用の将来像検討委員会
  - － 科学研究の健全性向上
  - － 各分野からの提言
- 審議依頼(諮問・答申)・・直接的な政策助言
  - － 高レベル放射性廃棄物の処分について(原子力委員会)
  - － 国際リニアコライダー(ILC)計画に関する所見(文部科学省)
  - － 大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準(文部科学省)
- 政策関連型・・間接的な政策助言
  - － 科学研究の健全性向上
  - － 大型研究計画・施設計画



# 意見表明に向けた体制

- **ゾーンデフェンス型** 会員・連携会員が分野別に行う意見形成
  - － 分野別委員会等の常設的委員会で分野を定めて審議
- **トップダウン型** 4役・幹事会主導する意見形成
  - － 執行部がテーマを定めて委員会を組織
  - － 執行部が審議依頼などを受け入れて委員会を組織
  - － 課題別委員会・幹事会附置委員会等で活発化（期限を定めて意見形成）
- **ボトムアップ型**
  - － 会員・連携会員がテーマを提案して、委員会を設置
  - － 今期4月以降初めて実施。



# 最近の2つの会長談話と その後の展開

- 真に成果の出る日本版NIH構築のために(6月23日)
  - 日本版NIH提案を評価
  - 米国NIHの豊富な予算、基礎と応用の連携
  - 進めるに際しては、基礎研究と応用研究を車の両輪に
- 科学研究における不正行為の防止と利益相反への適切な対処について(7月23日)
  - ノバルティスファーマ社問題
  - 学術会議のこれまでの取組
  - 委員会設置・半年で結論(行動規範の学習・普及、医薬品関係研究態勢の改善)

⇒「科学技術における健全性の向上に関する検討委員会」、同「臨床試験制度検討分科会」を設置2014年1月までに提言をまとめ、具体的な対策を進める。

# 日本学術会議のこれからの活動(1)



(幹事会・執行部主導型、分野横断型)

震災復興 東日本大震災復興支援委員会

原発・エネルギー 原子力利用の将来像についての検討委員会

フューチャーアース FEの推進に関する委員会

健全性 科学研究における健全性向上に関する委員会

改革 日本学術会議改革検証委員会

教育の質改革 大学教育の分野別質保証委員会

大型研究計画 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

若手 若手アカデミー委員会

国際活動 ICSU、IAP/IAC、G8、WSF、STSフォーラム、UNISDR、SCA

# 日本学術会議のこれからの活動(2)



## (審議依頼・会員提案)

### (審議依頼型)

- 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会
- 国際リニアコライダー計画に関する検討委員会

### (会員提案型)

- 人口減少が社会の諸システムに及ぼす影響に関する長期展望委員会
- 我が国の研究力強化に資する研究人材雇用制度検討委員会
- 科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会
- 日本学術会議の第三者評価機能に関する検討委員会



# 科学的助言の現状と課題

- 日本学術会議 審議・提言を通じて政策助言文書を提示。会長が総合科学技術会議の議員を務める。
- 総合科学技術会議 科学技術イノベーション政策の審議・立案・執行管理。
- しかし、政策全般に関わる科学顧問制度はない。
  - 科学者からの助言を要する種々のテーマが存在するので、政策全般に関わる科学顧問制度が必要ではないか。
  - 英国、米国、EU、国連の科学顧問制度を参考に、政策に科学的な見解をより反映させることが重要な時代。
  - 過渡的には、学術会議から、より広範な分野で、的確な提言等を政府に対して行う体制の強化が必要。将来の科学顧問もこうした活動に支えられる。